

子どもは自然が必要

高見幸子

スウェーデン野外生活推進協会理事

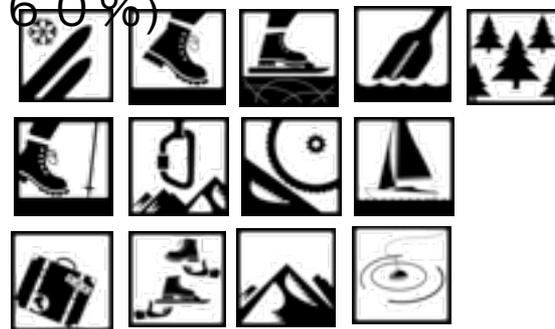
日本野外生活推進協会顧問

スウェーデン野外生活推進協会

野外生活推進協会は、国民の健康のために
リクレーションを提供しているNGOです。

FRILUFTSFRAMJANDET

- 8000人のリーダー
- 10万人の会員
- 4万人の 幼児・青少年の会員
- 380 支部, 23 県支部、 200の野外プレスクールと小学校
- 200万人 森のムッレ教室の活動に参加 (約 60%)



子どもの活動の概要

- 森のムツレ教室は1957年に発足
- 200万人、つまり4人に1人のスウェーデン人が森のムツレ教室を体験
- 森のムツレ教育は、野外生活推進協会の子ども対象の
教育プログラム
- **メッセージとアイデア**
 - 自然に配慮し、全ての生物を大切にする
 - 自然は、子どもにとって最高の遊び場である
 - ムツレとムツレの友達は、自然の中で子どもたちが



森のムツレと3人の友達



1970代

57 FRILUFTSFRAMJANDET

森のムツレが保育園に取り入れられる

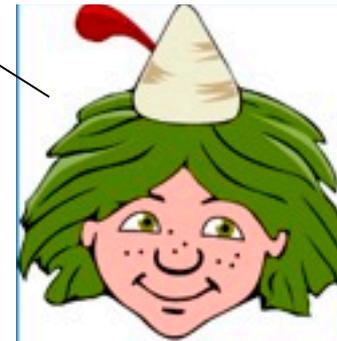
森のクノッペンとクニュータナ教室が始まる



SKOGSKNOPP



SKOGSKNYTT

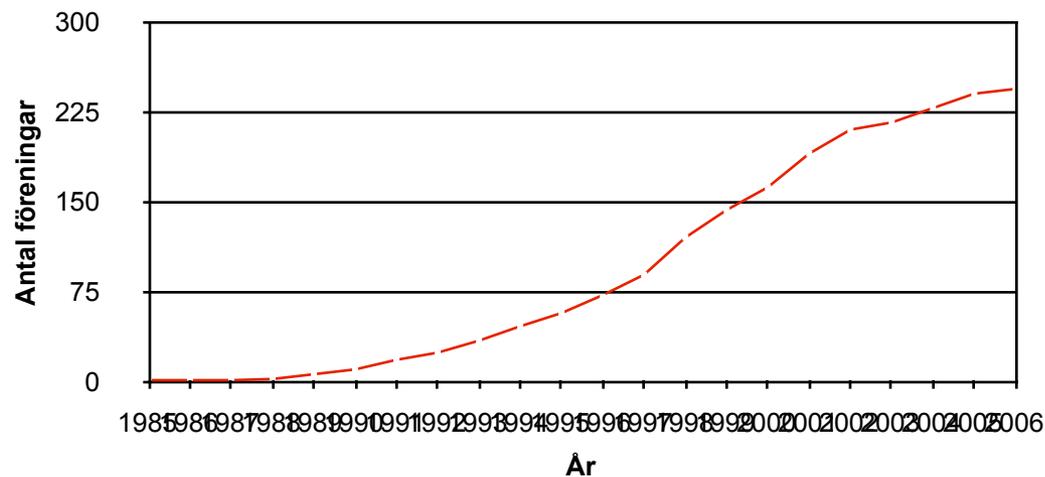


SKOGSMULLE

1980代

野外プレスクールが始まる 1985年

Utveckling av I Ur och Skur i Sverige



1985

2005

1990代

FRILUFTSFRÄMJANDET

野外小学校が始まる



2 - 6 歳

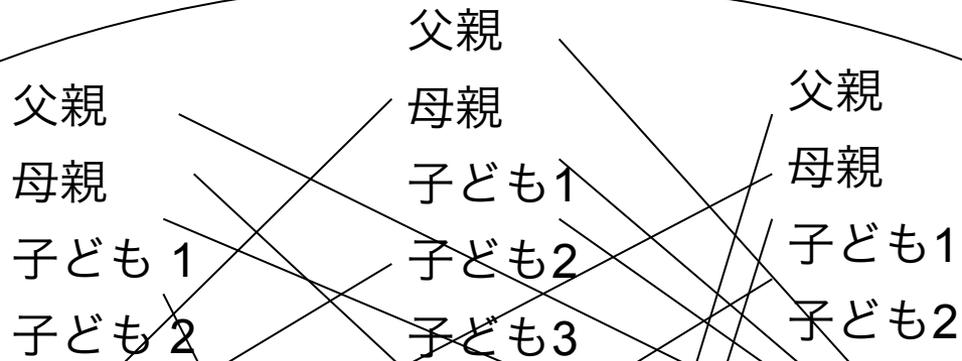


7 - 12 歳

2000代



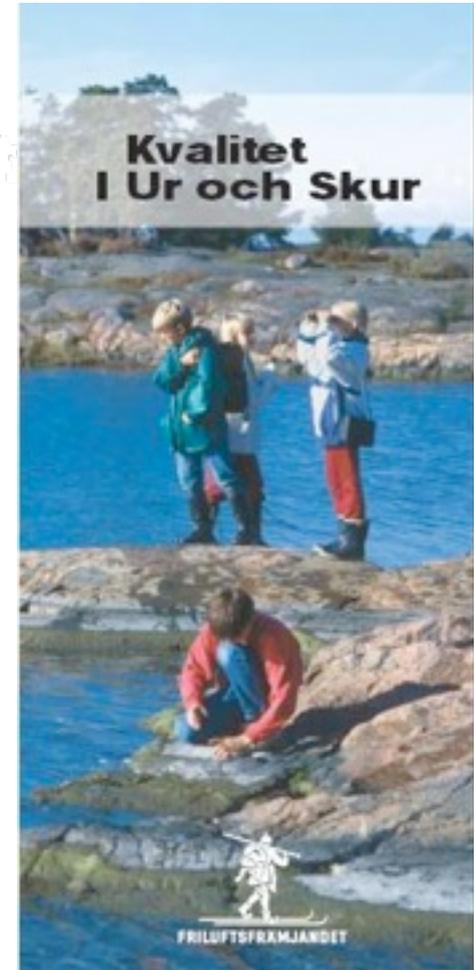
ファミリー活動





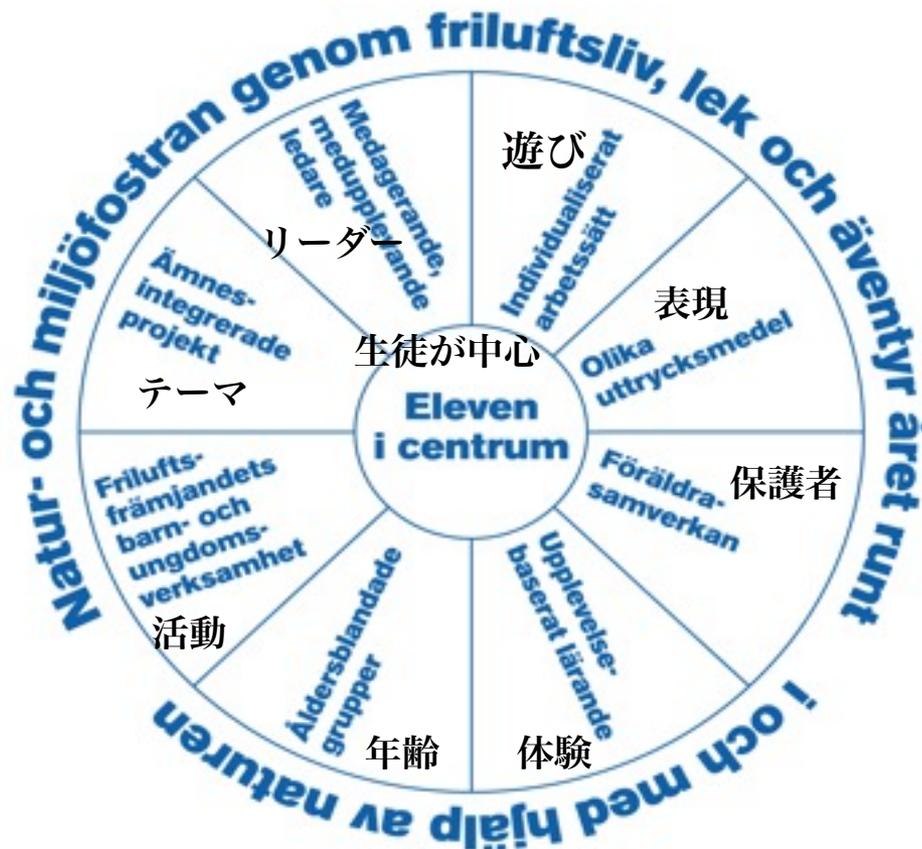
I UR OCH SKUR
FRILUFTSFRÄMJANDET

野外プレスクール・小学校



I Ur och Skur i förskolan och skolan

野外プレスクールと野外小学校の教育方針



4季を通じて自然の中で野外生活をし、遊び、冒険をすることで自然との付き合い方と環境保全を学ぶ

ムッレ教室が野外プレス쿨の基盤



園庭



保護者の参画



野外生活推進協会の子どもの活動



様々な遊び



いっしょに発見し感動するリーダー



テーマ/プロジェクト

- 季節、子どものニーズに合わせてプランを立てる:

何?

どこで?

誰が何をするか?

なぜ?

- 実践



- 反省と評価; 成功、失敗の原因は？

体験を基盤にした学習



野外教育の教師養成教育

教育大学の教師になる科を卒業した上で次の勉強をする

- 野外教育の教師の基礎コース: 7. 5単位をストックホルム大学で学ぶ
- 野外生活推進協会が主催するリーダー養成講座を終了
- 教師は、子どもといっしょに発見し、感動し、行動する。
- リーダーは、子どもとの対話と話を基盤とする。



活動は、室内と屋外の両方です

「昨日は、室内にちょっといたけど
今日は、森で思いっきり鬼ごっこをするよ。」



なぜ子どもに野外教育を提供するか

- 自然は楽しく、いろいろな野外生活が体験できる。
- 全感覚で学び、自分でなぜそうなのかなど考えたりできる。
- 子どもの身近に高いレベルの教育を受けた先生がいる
- 創造性豊かで、遊びが上手になる
- 自然な形で運動神経を発達させることができる
- 自然と環境についての知識が得られる
- いろいろな遊びで社会性を学ぶ
- 様々な生態系を体験し学べる

野外生活の効果

- 健康に良い
- 運動神経の発達に良い
- 自信と自尊心を高める
- 社会性を学ぶ
- ストレスとストレスに関連する病気が減る
- 想像力と創造性を養う
- 骨格と筋肉を強化



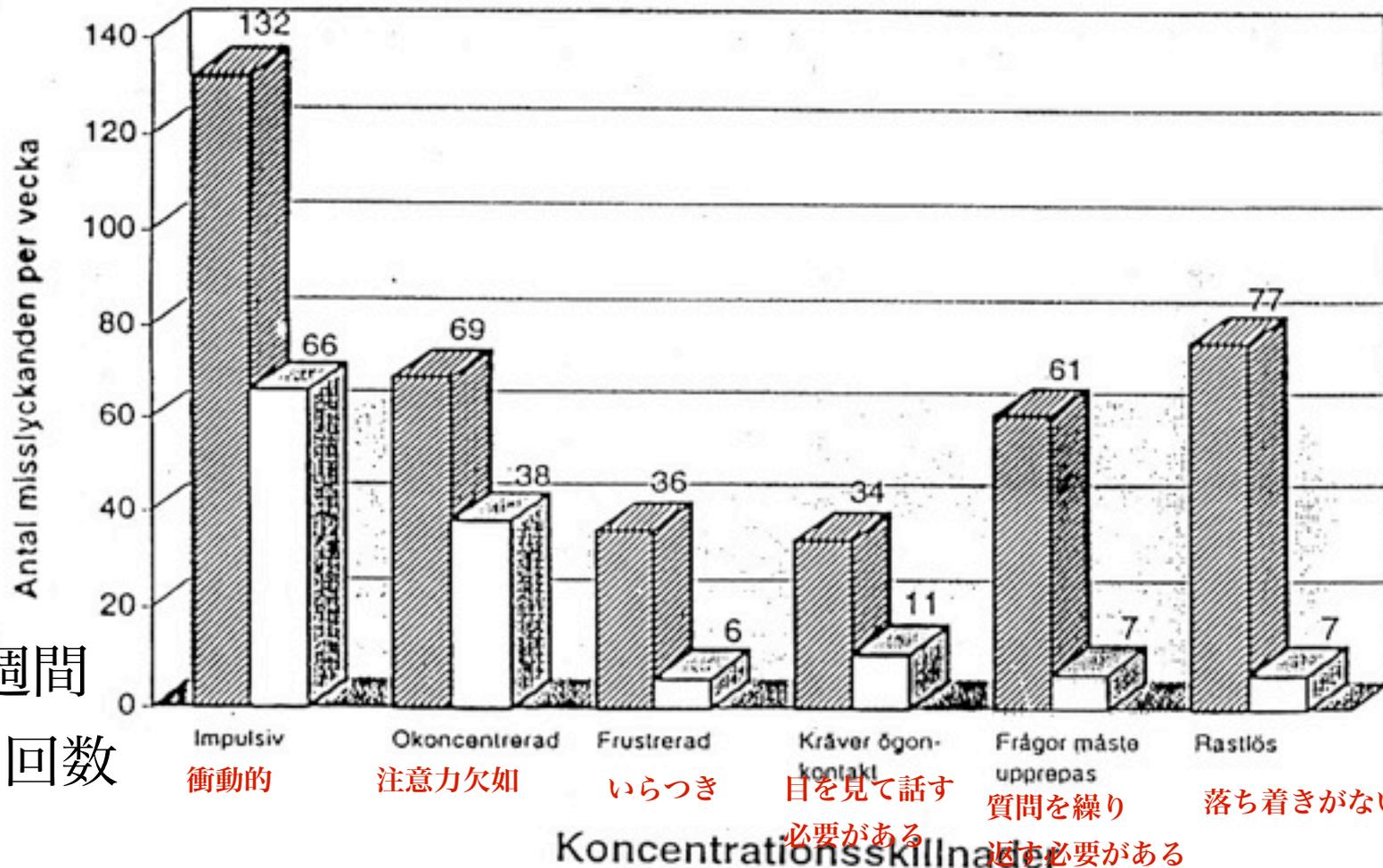
「自然の中では、様々な音、光、形や色などの刺激が脳を活性化してくれます。」

特に3~6歳の子どもは、脳が最も発達する時期なので
野外で活動することが脳にとって必要なのです。」

FÖRMÅGA TILL KONCENTRATION

(ref: 6 skilda koncentrationstest)

6つの集中力のテスト結果



都心保育園

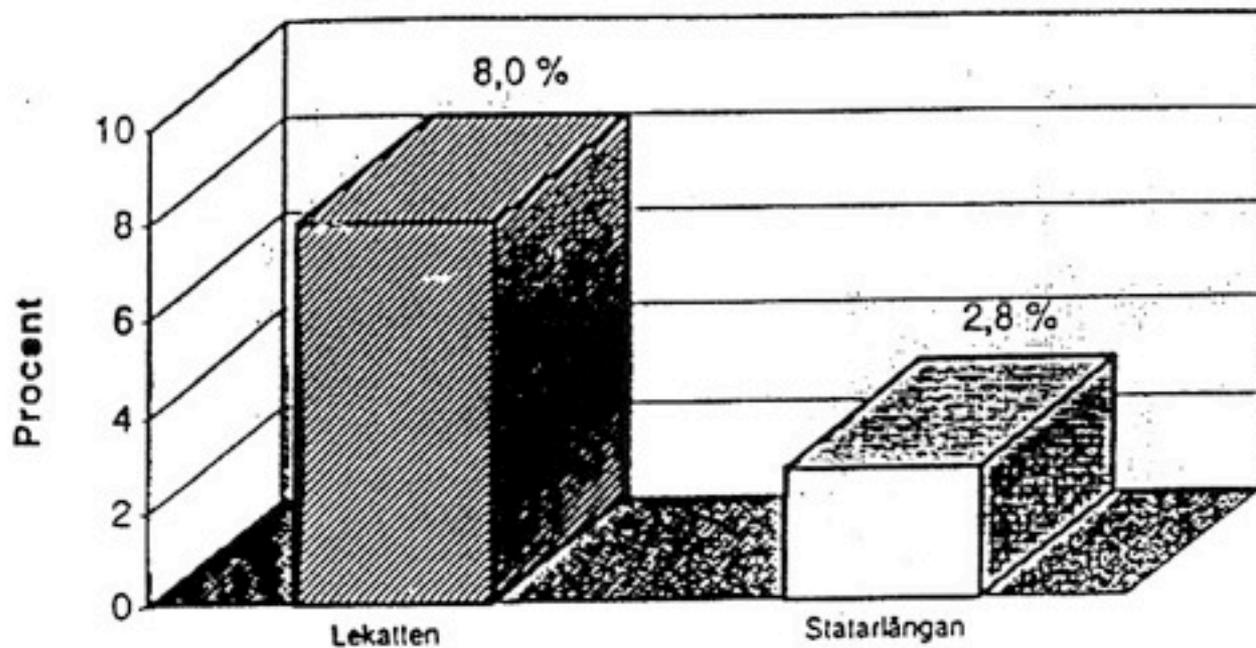
Lekatten
 Statarlängan

野外プレスクーパ

1週間の回数

HÄLSOTILLSTÅND

健康状況



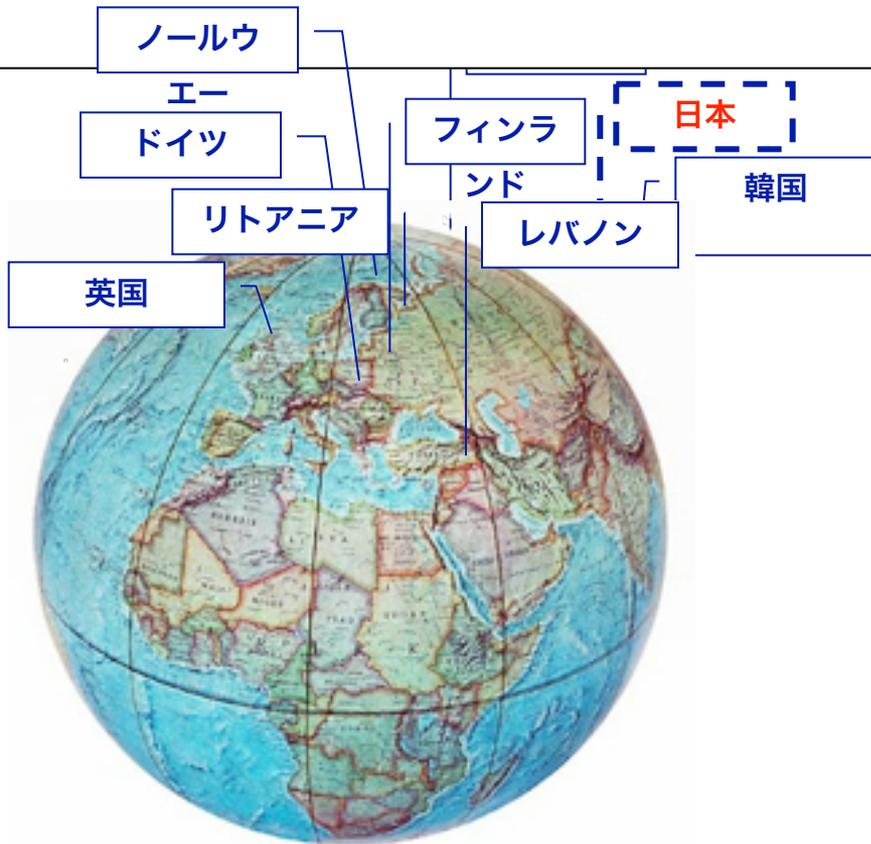
都心の保育園

野外プレスクール

Medelvärden av antalet sjukdagar

病欠のパーセント

森のムツレ、世界に広まる



その他

メキシコ、カナダ、アメリカ、デンマーク...



50 保育園

10 ボランティア
グループ

年間2000人の子ども
がムッレ教室に参加

15年間で

約20000人の子
どもがムッレ教室に参
加



新潟支部が最大の支部

15 保育園と 250人のリーダー



東京の森のムツレ教室

近くの公園を
活用



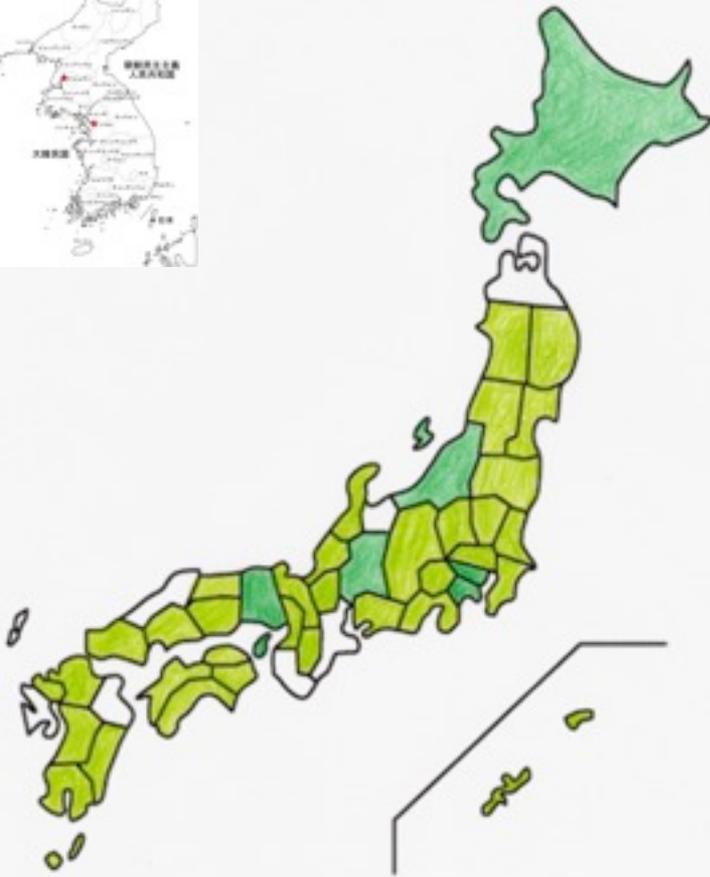
FRILUFTSFRÄMJANDET

活動の発展の鍵は、リーダー養成講座

日本では、早くからリーダー養成講座を独自で実施し
今年120回を超える。約2000人のリーダー誕生



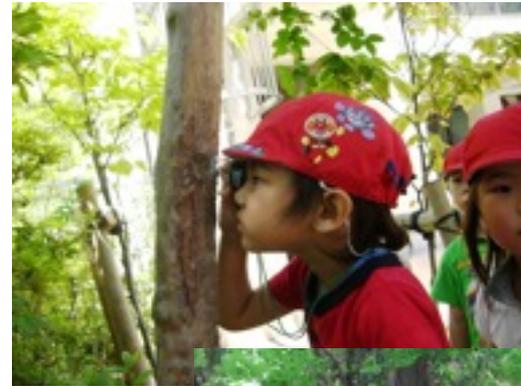
日本野外生活推進協会の活動範囲 2008年5月現在



* グリーンは支部のある地域

* うすグリーンはリーダー・会員がいる

地域
* 韓国に70名のリーダー



スウェーデン野外生活推進協会との連携

SIW OCH MAGNUS I JAPAN SOMMAREN 2004 KURSER OCH FÖREDRAG

Rapport från besök i Japan 29/7 – 8/8 2004

av Siw och Magnus Linde



1997年より毎年、スウェーデン研修を実施





森のムツレ教育は、環境教育として優
子どもの健康によく、民主主義の教育に
もつながる。

全世界が必要とするこれからの教育



日本の野外教育の発展にどう貢献できる

- 大学との協働が始まる 立正大学、京都女子大
- NHKの環境番組（藤原紀香出演）で紹介
- ムッレの本の出版



- 日本野外生活推進協会 本部

<http://www7.ocn.ne.jp/~mulle/top.html>

会長 高見豊

tomten@lily.ocn.ne.jp

- 日本野外生活推進協会 東京支部
代表 下重 喜代 (Shimoju Kiyo)

E-mail : kiyo-sun@nifty.com

東京都調布市小島町2-29-9-104